

第183回統計委員会 議事録

1 日 時 令和4年9月26日（月）10:40～10:50

2 場 所 W e b 会議

3 出席者

【委員】

椿 広計（委員長）、津谷 典子（委員長代理）、伊藤 恵子、川崎 茂、清原 慶子、
佐藤 香、白塚 重典、菅 幹雄、櫛 浩一、福田 慎一、松村 圭一、村上 由美子

【幹事等】

総務省政策統括官（統計制度担当）、総務省統計局統計調査部長、財務省大臣官房総合
政策課経済政策分析官、経済産業省大臣官房調査統計グループ統計企画室長

【審議協力者】

内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官、日本銀行調査統計局参事役、東京都総務
局統計部長

【事務局（総務省）】

尾身総務副大臣

北原大臣官房審議官

統計委員会担当室：萩野室長、栗原次長、小山次長、上田次長

政策統括官（統計制度担当）：阪本政策統括官、稲垣統計企画管理官

4 議 事

令和3年度統計法施行状況について

5 議事録

○椿委員長 それでは、定刻少し前ですけれども、ただ今から第183回統計委員会を開催いたします。

本日は秋池委員が御欠席です。

また、本日は公務多忙の中、尾身朝子総務副大臣に本会場にて御出席いただいております。

では、まず尾身総務副大臣から、開催に当たりまして御挨拶をお願いできますでしょうか。よろしく願いいたします。

○尾身総務副大臣 皆様、おはようございます。総務副大臣を拝命いたしました尾身朝子でございます。どうぞよろしく願いいたします。

椿委員長はじめ委員の皆様方には、日頃から統計行政の改善について精力的に御議論いただき、感謝申し上げます。ありがとうございます。

去る8月10日、統計委員会から、公的統計の総合的な品質向上に向けた取組について建議をいただきました。

これを受けて、政府においては、公的統計の品質向上と信頼回復のためには、品質優先の組織風土を一刻も早く定着させることが重要との考えの下、様々な取組に着手してまいりました。

具体的には、品質向上等に向けたデジタル化などの取組や体制強化を8月末の概算要求に盛り込んだほか、幹部職員の意識改革を図るため、9月13日にマネジメント研修を実施いたしました。また、業務マニュアルの整備・改善のための作業にも着手しております。

今後とも政府を挙げて、建議に盛り込まれた取組を着実に具体化してまいります。

委員の皆様には引き続き御指導・御支援をいただきますように、どうぞよろしく願いいたします。

○樫委員長 どうもありがとうございました。

昨今の情勢に鑑み、事務局による議事と資料の説明は省略とさせていただきます。

本日は議事次第のとおり、統計法施行状況報告についてとなります。本日はこのような議事にしたいと思えます。

○萩野総務省統計委員会担当室長 本日、事務局にてWeb画面上に資料を投影いたします。つきましては、委員の方々、説明者、質疑対応者等におかれましては、御発言の際に必ず資料名、ページ番号を冒頭にお示しいただくようお願いいたします。

また、御質問される方、御回答される方双方におかれましても、御発言の際には冒頭、御自身のお名前をおっしゃっていただきますようお願いいたします。

○樫委員長 では、議事に入ります。令和3年度統計法施行状況についてです。

この統計法施行状況については、企画部会に付託することとしております。

企画部会についてはこの後開催されることとなりますので、統計法施行状況報告の内容については企画部会において説明を受ける予定でございます。

本日用意しました議題は以上となりますが、席上配布資料としまして、公的統計の総合的な品質向上に向けた統計リソースの要求状況、これを配布しております。この件について、事務局から補足説明をよろしく願いいたします。

○山形総務省政策統括官（統制制度担当）付統計改革実行推進室参事官 事務局でございます。それでは、席上配布資料を御覧いただければと思います。公的統計の総合的な品質向上に向けた統計リソースの要求状況でございます。

先ほど尾身総務副大臣からも、概算要求に盛り込んだというお話をいただいたところでございます。

繰り返しになりますが、去る8月10日に、統計委員会から公的統計の総合的な品質向上に向けた建議をいただいたところです。同じ日には、同じ資料の冒頭に書いておりますとおり、各府省の統計幹事から成る会議において、建議を受けて、しっかり政府として全力で取り組んでいくということを申合せがされたところでございます。

建議の取組の中には直ちに着手をしているというものもございしますが、一定の予算や人員を確保した上で、来年度から始めるというものもございします。

この資料は、来年度の概算要求が8月末に締め切られたということを受けまして、建議の取組を実施するために、各府省から要求されている予算・人員について報告をさせていただきますというものでございます。

なお、この資料の数字は、左肩にも記載のとおり精査中ということで、仮のものとお考えいただければと思います。まさに、これから具体的に予算編成プロセスの中で動いていく数字でもございますので、席上配布資料の扱いとさせていただくことを御容赦いただければと思います。

こういう事情ですので、本日、この資料に基づいた個別の事項の御説明というのは割愛させていただければと思いますが、内容を少し眺めていただければ、業務マニュアルの整備・改善、統計作成プロセスの改善、あるいは次のページにあります、統計幹事、統計分析審査官、職員に関する取組やデジタル化、中央統計機構による支援強化といった観点で、予算、体制の両面で、各府省から要求されているという状況が御覧いただけるかと思いません。

なお、3ページ目以降ですが、定員の要求に関して、総務省に若干大きめの数字が計上されておりますが、これは建議において統計分析審査官の機能強化ということが提言されたことを受けまして、まさに品質管理の中核を担えるようにという提言でございましたので、総務省の統計部門や民間のアドバイザーが支援を行いながら、実際には各府省に配置をするということを想定しておりますが、現時点ではそういった事情で総務省の方に計上しているということでございます。

雑駁な御説明ではございますが、いずれにしても、来年度の予算・体制といったものは、予算編成プロセスを経て政府案となって、国会に御審議をいただいた上で確定ということになります。

これからまさに政府として予算編成のプロセス、頑張っていきますので、統計委員会の方からも引き続きリソース確保について御支援を賜りますと幸いに存じます。

以上でございます。

○樫委員長 御説明ありがとうございます。公的統計の総合的な品質向上に向けた各府省の要求状況について説明いただいたところです。

先般の建議では、品質はプロセスで作り込むこと、それからガバナンスの確立などの品質マネジメントの考え方が中心にあったわけですがけれども、各府省の要求においても建議の考え方が尊重されていると見受けられますので、その点をまず評価したいと思います。

特に、品質確保体制として総務省が人員を確保して各府省に配置し、これを総務省や民間のアドバイザーが日常的にサポートすることは、現在の統計分析審査官の専門性を高め、まさにPDCAサイクルの中核を担えるようにするものであり、是非この方向で進めていただきたいと考えます。

また、問題事案が発生して、リカバリーのために多大なリソースを投入する事態となったことは、平時からリソースを確保して事案の発生抑止や影響の最小化を図ることの大切さを示す重要な教訓でもありました。

各府省におかれましては、所要の予算や体制を確保して、品質向上に確実に取り組んで

いただくようお願いいたします。

最後に、事務局から発言があるようですので、よろしくようお願いいたします。

○阪本総務省政策統括官（統計制度担当） 政策統括官の阪本でございます。国土交通省の事案の関連文書の取扱いにつきまして、一言御説明させていただきます。

今般の国土交通省の事案につきましては、昨年末に明らかになって以降、各方面から関連文書の開示や、そういった求めがございました。

ただ、統計委員会におきまして、再発防止策や、あるいは公的統計の改善施策を取りまとめいただく上で、率直な意見交換を行いながら専門的な精査をしていただくべきとの考えから、これまで総務省としては、そうした開示の求めがあってもお断りをしてきたところでございます。

一方、去る8月10日には建議を取りまとめいただき、また、同日に公表された国土交通省の再発防止策につきましては、8月24日の前回の統計委員会で報告があったところでございます。

その後1か月が経過いたしました。その間、委員の皆様方から特段の御質問、御指摘等はなかったものと承知しております。

このため、本日の委員会を1つの区切りといたしまして、精査期間を終了の扱いとさせていただきます。各方面から関連文書の開示の求めがございましたら、今後は行政機関情報公開法等に従いまして、例えば個人情報等につきましては一定のマスキングなどを行うことはございますが、基本的には開示等を行うということにさせていただきたいと考えておりますので、あらかじめ御承知おきいただきますよう、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○樫委員長 御説明ありがとうございました。

また本日は、尾身総務副大臣におかれましては大変御多忙の中、委員会に出席いただきましたこと、統計委員会を代表して心から感謝申し上げます。

それでは、次回の委員会の日程につきまして、事務局から連絡よろしくお願いいたします。

○萩野総務省統計委員会担当室長 次回の委員会につきましては調整中ですので、日時・場所につきましては別途御連絡いたします。

以上です。

○樫委員長 それでは、以上をもちまして第183回統計委員会を終了いたします。